

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.7-8)

件名	固体廃棄物容器及びクレーン等取扱い時における損傷																									
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 分析建屋: 気送管</p> <p>(2) 発生の状況 分析ボックスからの固体廃棄物搬出・搬送時</p> <p>(3) 概要 クレーンにて固体廃棄物容器を吊り上げたところ固体廃棄物容器が揺れ、気送管に衝突し、気送管が損傷</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同様の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>																									
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 固体廃棄物搬出作業及び損傷した気送設備の使用を中止するが、気送管の損傷に進展性がなければ、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 損傷した気送管の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響が生じる。 気送管の破損に伴い、当該箇所を通る分析試料の気送が一時的に停止する。気送経路を変更することで対応できない箇所の場合、工程の運転に影響が生じることがある。</p>																									
対応の概要	<p>(1) 気送管の損傷の程度を調査する。</p> <p>(2) 放射性物質の漏えいがないことを確認する。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順に従い破損した気送管の保守を行う。</p> <p>(4) 保守後、作動確認等を行い、異常がないことを確認する。</p>																									
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																									
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 </td> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: middle;"> 放射性物質の外部放出 <small>(レベル2以下は工場外への影響はない)</small> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: middle;"> 工場外への影響 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;"> 放射性物質による汚染、被ばく等 </td> <td style="vertical-align: middle;"> 工場内への影響 </td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;"> 多重防護の劣化 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 <small>(レベル2以下は工場外への影響はない)</small>	工場外への影響	(b) 運転系統を切り替えて復旧	放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	(c) 当該機器を停止して復旧	多重防護の劣化		(d) 当該設備を停止して復旧			(e) 影響範囲の設備を停止		
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>		0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 <small>(レベル2以下は工場外への影響はない)</small>	工場外への影響													
0以下		1		2	3	4	5	6	7																	
(b) 運転系統を切り替えて復旧		放射性物質による汚染、被ばく等		工場内への影響																						
(c) 当該機器を停止して復旧		多重防護の劣化																								
(d) 当該設備を停止して復旧																										
(e) 影響範囲の設備を停止																										

